

シーン	項目	チェック欄
1 事前準備	(1) チーム内において感染対策責任者を定める。	
	(2) 競技会・試合に参加する上での注意事項を選手・スタッフ全員が理解する。(不安がある場合は参加を見送る)	
	(3) 健康管理チェックシート入手し、競技会開催日まで健康チェックを行う。※最低、試合前3日間と試合後5日間は検温すること。	
2 自宅～会場	(1) マスクを着用する。	
	(2) 知人や家族の帯同者はいない。	
	(3) 自宅を出る前に検温する。	
	(4) 車内では窓を開ける等、換気がよくなる工夫をする。	
	(5) 会場に到着後、手洗いをする。	
	(6) 寄り道をせずに、できるだけ早く帰宅する。	
3 会場到着時～試合前	(1) 選手・指導者・スタッフはマスクを着用する。	
	(2) 健康チェックシートは、チーム内の感染対策責任者が責任を持って保管する。	
	(3) 着替えを素早く済ませ、更衣室から早く出る。	
	(4) 更衣室が狭い場合の更衣の順番についてはローテーションを組む等の工夫をする。更衣終了後は更衣室の窓とドアを開けっ放しにする	
	(5) ウォームアップや練習は一定間隔で距離をあげ、実施する。	
	(6) フェアプレーセレモニーは実施しない。握手やハイタッチ、写真撮影、円陣は行わない。	
	(7) 飲料用のボトルは共用しない。	
	(8) ユニフォームの色やキックオフ(攻める側のコート)のチームは事前に決めておく。コイントスはしない。	
	(9) ミーティングの回数・時間を減らす、もしくは行わない。	
4 試合中	試合関係者のコミュニケーション、給水等	
	(1) 指導者・スタッフ、ベンチに座る選手はマスクを着用する。	
	(2) プレー以外の不要な接触を避ける(得点後の喜び、交代時の握手等)。	
	(3) ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも距離についてしっかりと配慮する。	
	(4) ベンチでの選手間の距離を保つ。テクニカルエリアの使用についても極力控える。	
	(5) ベンチ内に置く選手の持ち物はビニール袋などに入れて置く。使用したビブスは個々に持ち帰り洗濯する。	
	(6) 交代要員の選手は、アップ時の他の選手との距離にも注意を払う。	
	(7) 水・氷を溜めたクーラーボックスにボトルを漬けない。	
	(8) 熱中症対策に関係なく飲水タイムを取り入れる。	
	(9) 飲料用のボトルは共用しない。	
	(10) タオル等、リネンを他の選手と共有しない。	
	(11) うがいた水をピッチ内に吐かない。	
	(12) ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐いたり、手鼻をかまない。	
	ハーフタイム・交代・退場時、試合終了時の対応	
	(1) 更衣室を使用する場合は、入る前に消毒や手洗い、うがいをする。	
(2) 選手交代後においても消毒や手洗い、うがいをする。		
(3) 退席や退場の際等、審判員と会話をすることがあったとしてもその距離には十分に配慮する。		
(4) 怪我をした選手を他の選手がむやみに接触しない。また、ピッチ外に当該選手を移動させる際は、おんぶやだっこを避け、担架を活用する。仮に、おんぶ等をして当該選手を移動させた場合、移動に関わった人は速やかに消毒を行う。		
(5) 試合後のチーム、審判員との挨拶、相手チームベンチへの挨拶は行わない。		
5 試合後	(1) 更衣室を使用した場合は、更衣室の窓とドアを開けっ放しにする。使用後は消毒する。	
	(2) 更衣室を使用した場合は、着替えを素早く済ませ、更衣室から早く出る。	
	(3) シャワーは原則使用しない。使用した場合は、シャワー室全体を洗い流す。	
	(4) 試合会場のルールに従い、ゴミを密封した状態で処分するか、持ち返る。	
6 帰宅後の過ごし方	(1) 手洗いうがいを徹底する。	
	(2) バランスの良い食事をとる。	
	(3) 検温と共に行動記録を書く。	
	(4) 早めに就寝し、十分な睡眠時間を確保する。	
7 事後対応	(1) 帰宅後3日以内にチームの中から感染者が出た場合は、運営部またはシニア委員長に速やかにその旨伝える。	

チーム感染対策責任者：